

2025 年度 大阪障害者センター 管理者・主任セミナー

運動のリアルな姿から考える 障害福祉事業の発展方向

日時：2025 年 11 月 3 日（祝） 10:00 ～ 16:30

会場：大阪産業創造館 5 階会議室 E（堺筋本町・徒歩 5 分 地図参照）

社会福祉の発展にとって、住民らが展開する社会運動は大切な存在です。20 年前の 2005 年に国会に上程された障害者自立支援法の廃止を求める障害者・家族・関係者らの運動がそうであったように、社会運動は制度をつくり、その改善を実現していく上で大きな力を発揮してきました。

一方、社会福祉事業は、社会によって生み出される様々な生活問題を、「自己責任」として放置するのではなく、社会の問題として引き受けることで人々を支えてきました。今では、私たちのあたりまえの暮らしを支えるために欠かすことのできない、大切な役割を担い続けています。

ところが今、営利目的の事業者などによって、社会福祉が「儲け」を最優先する「サービス業」につくりかえられてきています。加えて職員不足や報酬抑制の影響は、社会福祉法人の経営の土台を脅かしてきています。

このような中であって、本来の社会福祉とは何か、そしてその発展の原動力はどこにあるのか、について、あらためて運動の視点からとらえ直すことを目的に、2025 年度の管理者・主任セミナーを開催いたします。

内容 講演 社会福祉の本来的な役割と社会運動

講師 石倉 康次 先生（総合社会福祉研究所・理事長）

シンポジウム 障害者運動の役割と課題

白沢 仁 さん（障全協会会長代行）

園部 英夫 さん（全障研副委員長）

多田 薫 さん（きょうされん事務局長）

コーディネーター 塩見 洋介・大阪障害者センター事務局長

*会場でのリアル参加（定員 100 人）+ Zoom によるリモート（ハイブリッド開催）

参加費 会員施設からのご参加 お一人 5,000 円 会員外 6,000 円

講師・シンポジスト一同、皆さまとの対面での出会いを心待ちにしています。

スケジュール	10:00	開会	
	10:10	講演	社会福祉の本来的な役割と社会運動 講師 石倉 康次 先生
	11:40	質疑	
	11:50	昼食休憩	
	12:50	シンポジウム	
		シンポジスト	白沢 仁 さん (障全協会長代行) 菌部 英夫 さん (全障研副委員長) 多田 薫 さん (きょうされん事務局長)
		シンポジスト・コーディネーターのトークセッション	
		コーディネーター	塩見 洋介 (大阪障害者センター事務局長)
		シンポジスト・コーディネーターによるまとめの発言	
	15:00	休憩	
	15:20	分散会	リモート参加の方々によるグループ分けも行ないます
	16:20	分散会終了	
	16:30	終了	

お申込み方法 下記に記載の上、ファックス・メールにて送付してください。
また、グーグルフォームからもお申込みいただくことができます。

メール送付先 kanri-s@npo-osc.com

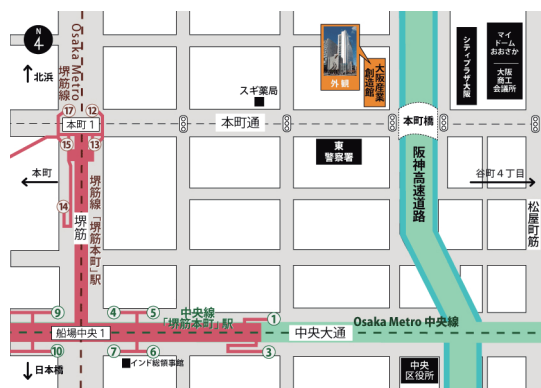
グーグルフォーム



会場までのアクセス情報

大阪市中央区本町 1-4-5

Osaka Metro「中央線」「堺筋線」の
「堺筋本町駅」から、徒歩約5分。
東警察署の道路を挟んで北東の斜め
向い。



管理者セミナー参加申込用紙 FAX 06-6697-9059

施設または法人名		担当者氏名		電話	
リモート参加者への資料送付のためのメールアドレス					
参加者氏名	氏名①	参加形態	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> リモート	氏名②	参加形態
	氏名③	参加形態	<input type="checkbox"/> 会場 <input type="checkbox"/> リモート	氏名④	参加形態